

令和3年度

事業報告書

特定非営利活動法人 日本ブラインドマラソン協会

1 事業の成果

令和3年度は、コロナ禍の中、感染対策に最大の注意を払いながら選手強化事業、障がい者スポーツ普及のための大会開催事業、及び研修、広報事業を可能な範囲で実施することに努めた。東京2020パラリンピック大会においては、目標を達成する大きな成果を収めることができた。また、規模の縮小こそあれ、予定していた協会主催2大会を開催することができ、活動機会を大幅に制限されている視覚障がい者への活動の場を提供するとともに、ノーマライゼーション社会の実現に繋げる活動が展開できた。

研修活動については、最小限の活動に留まった。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【 76,132 】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
毎年1回以上のブラインドマラソン大会の開催	①神宮外苑チャレンジフェスティバル第39回JBMAエフィートラン	12月5日	國學院高等学校	215人	全国の視覚障がい者等を含む一般ランナー	630人	14,772
	②OSAKA EKIDEN in 長居兼第24回全国視覚障がい者駅伝大会	10月30日	ヤンマースタジアム長居	101人		155人	
ブラインドマラソン指導者及び伴走者の養成を図る研修	①主催伴走研修会(1回) ②上級者伴走研修会(中止) ③地方研修会支援(中止) ④その他研修支援(2回) ⑤代々木定例練習会(1回)	7月11日 6月、7月 11月	東京 東京 東京・代々木	計27人	全国の視覚障がい者、伴走者及び、伴走体験希望者	計244人	173
友好団体が行うブラインドマラソン大会の支援	①かすみがうらマラソン	開催中止	土浦市		視覚障がい参加者		0
	②福知山マラソン	開催中止	福知山市				
国際パラリンピック競技大会等、障がい者スポーツ大会に参加する選手の競技力の強化、並びに次世代選手の発掘・育成	①国際大会派遣(東京2020パラリンピック)	9月	東京	計2人	ブラインドマラソン競技力向上事業対象選手、伴走者、スタッフ	計11人	46,853
	②国内大会派遣(9回)	4月～2月	全国	計41人		計137人	
	③強化合宿(25回)	4月～3月	富津(14回) 菅平(3回) 北見他(7回)	計128人		計393人	
	④NTC合同練習会(20回)	4月～3月	東京	計20人		計80人	
海外ブラインドランナー及びその所属団体との交流	かすみがうら、ロンドン	開催中止					0
会報の発行、ホームページ等による広報普及事業	①会報発行(2回) ②広報・普及ツール製作	9月、2月 通年(2種)	各600部 協会パンフ、メディア集他			1,178	
その他目的を達成するため必要な事業	東京2020パラリンピック関連	通年					3,451
事務局運営	事務所費、職員手当、事務費等	通年	令和3年度会員数437名(含障がい者177名)				9,705

(2) その他の事業

(事業費の総費用【 0 】千円)

該当事業なし